

スポーツDX促進事業

商務・サービスグループ
サービス政策課スポーツ産業室

令和5年度予算額

1.0 億円 (新規)

事業の内容

事業目的

・日本のスポーツ産業は、これまでチケット収入や広告収入をメインの収益源とするビジネスモデルであり、興行が制限されたコロナ禍では大幅に収益が落ち込んだ。他方、欧米のスポーツ産業では、コロナ禍においてもWeb3.0経済等を取り込んだ新しいサービスを拡大し、コンテンツ産業、データ産業へとビジネスモデルを変革することで収益拡大につなげている事例もあります。

・我が国でも、データビジネス、DXを積極的に活用しスポーツ産業を拡大していくことが肝要であり、官民一体の市場環境整備に向けた取り組みを進めます。

事業概要

・本事業では、スポーツリーグ・クラブ、サービス提供側の企業等と連携し、以下の取組を行います。

(1) スポーツ×DX実証事業

スポーツDX（スポーツリーグやクラブにおけるコンテンツやデータの活用等）による新しいサービスを創出・普及展開していくための課題を明確化し、対処するための実証を行います。

(2) 海外需要創出促進事業

スポーツDXによる新しいサービスの展開が期待できる主要な国における市場の実態、規模、法制度等を調査します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

令和7年度までにスポーツ産業の市場規模を15兆円にすることがスポーツ基本計画において定められているところ、この達成の一助とするために、国内外でスポーツDXでのサービスが展開されるビジネス環境を整備します。